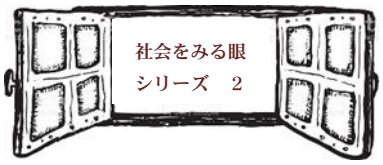
雄　飛

向陽高校進路便り　第54号
平成 29 年10月5日(木)
～覇天昇界～

２２期生センター試験まで
100！

読書の秋ですね☆２学期に入ってから図書館には行きましたか？
公務員、看護師、教員志望の多い向陽生に、いまこそ読んでほしい本はこれ！



上間陽子「裸足で逃げる」太田出版

……いっつもみんなたまってから、悪いことばっかしてた。……いつもあのひとにくるされていた。
――あのひと？
にぃにぃ。……家出してから。怖くて家出してから……。あのひとの知り合い、沖縄中にいるわけ。…名護にも、糸満にも、どこにも。あれこそＤＶ、ＤＶ男。
――うん。
逃げて、いつも逃げて。捕まるさ。またくるされて。それが怖くて、また逃げて。
――うん。
家出するさ、家出して男のところ行っても、にぃにぃに見つけられて、くるされて、それが怖くてまた逃げて……。いつも逃げる、いつもだよ。怖くて逃げる。逃げて、くるされる。…なんで私はいつも逃げるかね……。（「キャバ嬢になること」）

本に登場するのは、沖縄の6人の女性。多くは、皆さんとそう年齢の離れていない未成年だ。家族からの虐待、恋人からのDV、見知らぬ男たちからの性暴力から生き延びるため、その場所から逃げ出した。多くが10代で子どもを産み、パートナーと別れた後、1人で子どもを育てるために風俗で働いている。

〈公務員、市役所職員になりたいひとに〉

（兄からの暴力のため家から逃げ出した優歌は恋人との子を妊娠したが、相手の男性も暴力をふるい、家に帰らない）

優歌を説得して一度だけ、市役所の生活保護の担当部署に出かけたことがある。優歌の現在の状況と、家に暴力をふるうきょうだいがいることを聞いた保護課の職員は、「世帯分離ができていないので、生活保護の対象にはなりません」と話し、生活保護の申請用紙すら渡そうとしなかった。（「キャバ嬢になること」45 頁）

〈教師になりたいひとに〉

翼の中学校の教師たちもまた、翼たちの面倒を見て大切にする一方で、翼たちに体罰をふるっていた。暴力が常態化するなかに育つ子供たちは、成長すると自分の恋人や家族に対しても、暴力をふるうことが当然だと思うようになる。なぐられるほうもまた、大切にされているから自分は暴力をふるわれていると思い込もうとし、逃げることが遅れてしまう。（「記念写真」77 頁）

〈警察所で働きたいひとに〉

（恋人からのDVを受け続けた鈴乃は、強いストレスのため妊娠7ヶ月で出産。子供には重い脳性麻痺が残る）
鈴乃は「このままでは殺される」と思い、何度も警察に駆け込んでいる。でも、入籍していないカップルの暴行は保護の対象ではないといわれ、鈴乃は警察署から追い返された。（「カバンにドレスをつめこんで」101 頁）

〈医師、看護師になりたいひとに〉

「産めないから、堕ろすってなって、宮国病院に友達と行ったら、女の医者が出てきて、未成年だから手術できないとか、だれの子ですか、エイズかもしれないからうちではできないとか、検査してからとか、いろんなことをいわれて」（中略）医師は、亜矢が答えたくないであろう質問を矢継ぎ早に繰り返し、亜矢の妊娠を問題にした。（中略）医師からの質問に、亜矢が「ただちに戦闘態勢」という姿勢になるのは、そのような眼差しのもとで否定されて尊厳を奪われるようなことが、亜矢の日常生活にあふれているからだ。（「病院の待合室で」142 頁）

向陽生には見たことのない世界だと思うけれど、貧困と暴力も沖縄の現実。社会に出る前、この島の課題を知っていてね。

図書館に行こう！

読書の秋です！
中間テストが終わったら、
1冊借りてみませんか？
特に、（小説もいいけど）
社会とつながるような
書籍に触れること。
3年生になってから焦っても
なかなか知識は一朝一夕じゃ
積もりませんよ～

このドアを開けて
右手には・・・

図書館には県内 2 紙（琉球新報、沖縄タイムス）と、全国紙の朝日新聞があります。毎日新聞を読むことで、社会と自分のやるべきことが繋がることも多いですよ。
ワイドショーやLINEニュースだけでは足りない知識・沖縄の課題を、脳みそに補おう！

☆雑誌コーナーも充実☆

このへん

上段には今年新しく入った「留学ジャーナル」も！（広瀬すずだ！）
留学に行きたいひと！海外生活に興味があるひと！
大学行ったら挑戦したいひと！ぜひ手にとってみてね(^^♪

下らへん

これもお薦め『切抜き速報』！全国 85 紙の新聞から毎月特集を組んだまとめ雑誌。教育版と健康保健版、社会版があります。全国紙の主張、地方の取り組みや課題など、教養のため要チェキ☆

雑誌コーナーの隣に、過去の『切抜き速報』も読める本棚があります。興味のある特集を探してみよう！

図書館入って左側にはこんな→
新書がたくさん並べられています。
「新書って何？新しい本のこと？」とか
まだに言ってる３年生がいたとしたら
かなりヤバいです。志望学部や専攻の
読むべき１冊をぜひ探しにいってください！

読むべき本は、あなたが探しに来てくれるのを静かに待っています！
運命の本、探しに行ってあげてね～